

規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	兵庫県高齢者生活協同組合	代表者	阿江義春	法人・事業所の特徴	住宅や商店が混在する長田区の下町で、国道2号線のすぐ北側に立地し、長田港と高取山が展望できます。「地域の人たちと住み慣れた町で暮らしていけるよう支援する」という理念を掲げ平成18年に事業を始めました。「ふれあい食事会」への参加や、音楽レク、健康体操などボランティアの受け入れや「神戸まつり」の出店など地域交流にも努めています。地域のニーズに沿って、独居の高齢者や家族への就労支援として配食サービスを行うなど、多機能性を生かしています。
事業所名	小規模多機能かけはし	管理者	森本泰行		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			今回が初めてなのでよくわからないとの事。	職員も設問に対してじっくり検討できておらず、来年度は、「地域包括ケア」とはから初めて、自己評価に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所のしつらえや環境に対し特に問題はない。	身体拘束をしないとの方針に変わりが、玄関錠時間を少しでも短縮できるよう職員配置を工夫する。
C. 事業所と地域のかかわり			神戸まつりに出店するなど、徐々に地域とのかかわりも増えている。	地域住民とのかかわりは管理者がほとんどの為、職員が地域行事に参加できるよう計画する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			以前は職員と散歩する姿が見られましたが、近ごろは見られず心配。	地域との関わりが、夏と年末程度の為、地域イベントへの参加を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み			地域に出向くという姿勢や、地域に積極的に関わる姿勢が良く見えない。	主に事業所が抱える問題討議当たっていた為、地域の問題点も共有できるよう取り組む。
F. 事業所の防災・災害対策			解らないとの事で、水と食料の備蓄をしている事と、有事の際には避難場所として利用していただく様説明しました。	地域の防災活動に参加する為、防災活動の情報を教えていただく様、あんすこセンターや、民生委員さんに依頼しています。